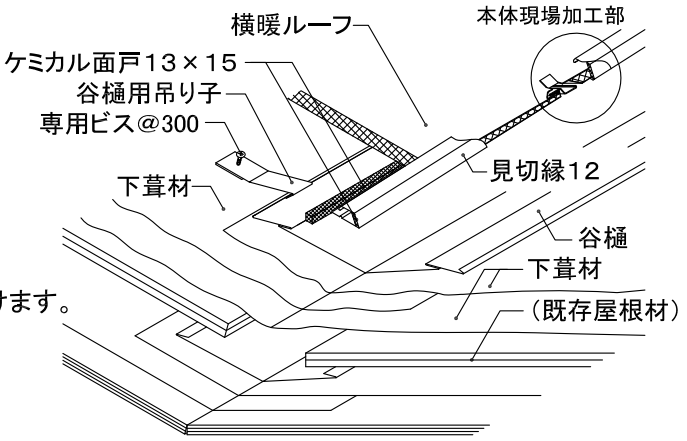
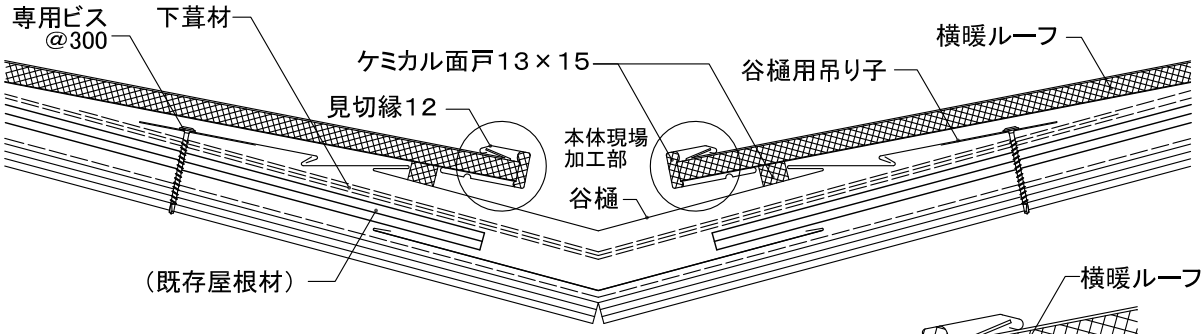
横暖ルーフ	工法	既存屋根材
	重ね葺き	セメント系新生瓦 アスファルトシングル

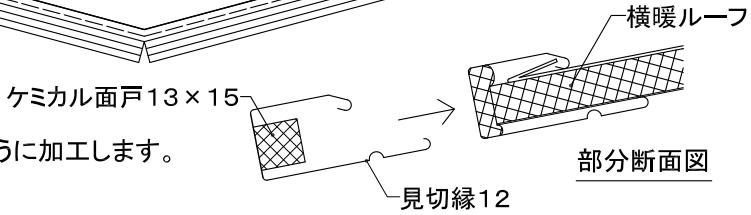
7）谷部　　②谷樋＋見切縁12

●既存屋根材に、下葺材を張ります。
●谷樋は谷部に谷樋用吊り子を使用し、専用ビス（ステンレスドリルビスφ4．4㎜×55㎜）を用いて、300㎜以下の間隔で留め付けます。本体留め付けの専用ビスは、谷樋を避けて施工します。
●谷樋部分は図のように加工した横暖ルーフ本体を施工します。見切縁12にケミカル面戸13×15を貼り付け、本体の折り返し部分と見切縁12のはぜとが引っかかるまで押し付けます。
●挿着後、見切縁12を引っ張り、外れないことを確認してください。
※積雪のある地域では使用できません。

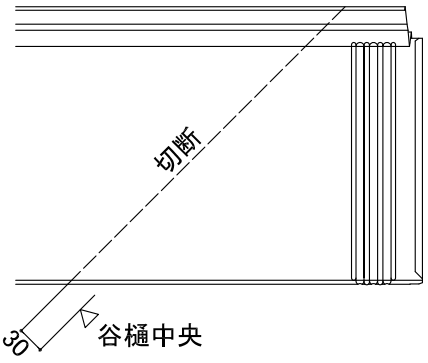




■施工ポイント・現場加工図
●横暖ルーフ本体の谷樋部分は、図のように加工します。

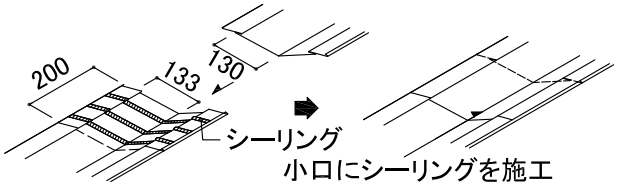


部分断面図

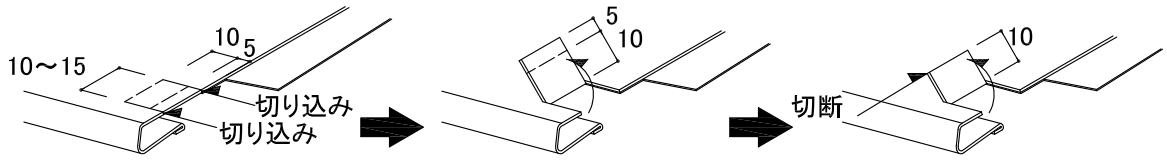


①横暖ルーフ本体を谷樋中央部から30㎜の位置で切断します。

■谷樋　接合部
●重ね代にシーリングで3本のビードを作り、上部谷樋を差し込んでください。
●接合後、小口にシーリングを施工します。



※谷樋は図中寸法のように流れの上下で小口の大きさが異なります。
接合が必要な場合は特に確認して施工してください。



②図の位置2ヶ所に切り込みを入れます。　③切り込みを入れた部分を起こします。　④端部から5㎜の位置を切断します。